

事務事業名		佐野市統計資料発行事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	統計係	担当課長名	大木 聡	
	施策	3 市政情報の共有と広聴活動の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 広報活動の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	3469	1	2	5	1	統計調査総務事務					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S52 年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
	実施方法		直営		事業分類		広報・広聴・啓発事業		該当なし		
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
<p>毎年、市勢に係る統計資料をまとめた「佐野市統計書」及び「佐野市の工業」を作成し、市ホームページ上への掲載等を行っている。</p> <p>また、国勢調査、商業統計調査など、主要な調査に関しては、調査のあるごとに統計資料を作成している。</p> <p>最近では、冊子による発行を廃止し、統計資料を市ホームページ上へ掲載することにより、事業に係る経費削減並びに、市民が手軽に統計情報を入手できるようになっている。</p>		<p>・「佐野市の工業」(4月)「佐野市統計書」(6月)、をそれぞれ市ホームページ上に掲載した。</p>						
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
統計書掲載回数		回	5	2	2	4	4	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
① 市民		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
人口		人	123,182	122,582	121,522	121,522	121,522	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
① 市民が市の統計データを入手できる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
資料提供を求めた関係部署		件	54	54	54	54	54	
資料提供を求めた事業所		件	38	38	38	38	38	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
行政が保有している統計情報を市民と共有する。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
佐野市ホームページ「統計情報」閲覧件数		件	2,412	2,087	2,500	2,500	2,500	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円			1	1	1			
	事業費計(A)	千円	0	0	1	1	1			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
							消耗品費	1	消耗品費	1
	人件費	人	2	1	2	2	2			
のべ業務時間	時間	330	300	600	600	300				
人件費計(B)	千円	1,284	1,182	2,365	2,365	1,182				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,284	1,182	2,366	2,366	1,183				

事務事業名	佐野市統計資料発行事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	統計係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和52年度に、それまで市勢要覧の資料編として刊行されていた統計資料と、各種統計調査結果報告書を総合的にまとめて編集刊行された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	事業を開始したころは統計資料提供の媒体は紙(冊子)であったが、現在は、インターネットを通して手軽に情報を入手できるようになっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	利用者から、最新の調査結果報告を要望されるが、国の基幹統計調査等は確定値が出るまでに、ある程度時間を要する。たとえば、国勢調査はすべての結果が出そろうのに約3年かかる。調査結果は、国で集計し公表するため、それ以降でないとい市のデータは公表できない。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 市民に市勢に関する情報を提供することは、市民との協働、行政への参画の上からも必要不可欠であり、また、各関係機関や行政の計画、政策立案等に利用するうえで非常に重要であるため、「行政が保有している統計情報を市民と共有する」という結果に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 現在、各種統計調査は市が国や県から委託を受けて実施しており、この調査結果を基にした統計資料を市で作成するのは妥当である。また、市勢全般に関する情報を有するのは市だけであり、これを秘匿措置を講じて公平に公開できる機関としては市が妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 この事業は、行政機関はもちろん、広く市民や各関係機関に統計資料を提供するもので、実態と合っているので妥当である。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 データを収集・加工し、ホームページ上に掲載する方法をとっているため、経費は人件費及び若干のデータ保存用磁気媒体のみであり、削減の余地はない。(平成25年度から統計総務事務費で支出)
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
市民ニーズがあることに加えて、各種施策や事業を効率的に策定するうえで統計データは不可欠であるので、廃止休止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			